

(款) 10総務費 (項) 5総務管理費 (目) 25企画費

◎企画総合計画の経費

企画総合計画事業

【

経営企画課

】

【総合計画上の位置づけ】

計画の前提

行財政運営: 地方分権社会に対応した持続可能な行財政基盤の確立と効果的な都市経営をめざします

【事業の目的】

対象 市民等

意図 地方自治法の本旨に即し、地域における総合的かつ計画的な行政運営を図るため。

効果 基本構想に掲げた将来都市像「古都としての風格を保ちながら、生きる喜びと新しい魅力を創造するまち」の実現

【事業の内容】

(1) 企画事務

- ・ 市民活動団体との協働で団塊の世代を中心とした層に対する支援イベントを実施した。

(2) 総合計画推進事業

- ・ 第2期基本計画の各政策分野ごとに目標指標及び目標値を設定し、年度における計画の進行を管理し、その結果を第2期基本計画(WEB版)で公表した。
- ・ 前期実施計画の各事業ごとに進行管理を行い、前期実施計画(WEB版・進行管理編)で公表した。
- ・ 前期実施計画を見直し、中期実施計画を策定した。

【中事業に含まれる実施計画事業】

第2期基本計画の進行管理(0-Ⅱ-1-①)

団塊の世代対策支援の推進(7-3-3-①)

【事業費】

(単位: 千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
1,171	1,019	878		141
主な支出内訳				
・ 企画事務				
(財) 地域活性化センター会費負担金				140
鎌倉団塊プロジェクト実行委員会負担金				500
・ 総合計画推進事業				
総合計画専門委員報酬				0
総合計画審議会委員報酬				0
都市経営セミナー講師謝礼				30

平成21年度事務事業評価シート

[illegible]

平成21年度事務事業評価シート

創意・工夫・課題等改善状況	課題・問題点	(20年度事務事業を実施するうえでの課題・問題点は、どのようなことでしたか) ・平成20年度は平成21年度からスタートする中期実施計画を策定する年である。事業採択に当たっては、厳しい財政状況の中から捻出される計画自由財源の効率的、効果的な活用に配慮する必要がある。 ・毎年度、財政状況が厳しくなる中で、実施計画を計画どおり進めていくため、中期実施計画と財政計画との連携を図っていく必要がある。 ・鎌倉団塊プロジェクト実行委員会によるイベントは、市民の関心を呼び、一定の効果は上がっているが、この事業を評価するためには、「団塊の世代のうち何人が地域デビューできたか」といった視点が必要である。イベントの開催は、きっかけとしてはよいが、一過性の取り組みであるため、今後は、これまでのイベント参加者を含め、団塊の世代一人ひとりの地域デビューへのフォローアップが必要な時期に来ている。
	創意・工夫・課題等の改善点 20年度の成果	(課題・問題点についてどのような創意工夫、改善をしましたか。また、どのような成果がありましたか) ・事業採択に際し、採択指針を定めるとともに、都市経営の視点から計画を推進するための配慮事項や重点事項を定めた。 ・実施計画とその裏付けとなる財源との整合性を図るべく、中期実施計画と「財政計画」を一体のものとして策定した。 ・かまくら市民活動ハンドブックの発刊、鎌倉団塊プロジェクト実行委員会専用ホームページの開設、各種行政視察や取材等への対応などのほか、団塊の世代に係る他市のイベントへの参加、団塊の世代のコミュニケーションツールとして、地域SNSの研究なども行った。 ・団塊の世代の方々への意識啓発や地域デビューのきっかけづくりとして効果的であった。また、今回の実行委員会の活動は、市民と行政がそれぞれの長所や得意分野を生かし、相乗効果が発揮できた。
	未解決の課題・問題点	(20年度事務事業の取組において対応(解決)できなかったものはどのようなことですか) ・もっと、団塊の世代の自主性が喚起できるような場が必要である。
	今後の方針 (対応・改善)	(上記対応できなかった課題・問題点について今後どのように対応(改善)していきますか) ・国の制度や景気などの将来動向を見据え、実施計画に掲げる事業の着実な進捗を図る。 ・これまで3年間の活動を行ってきた鎌倉団塊プロジェクト実行委員会は、平成20年度をもって解散し、今後は、各参加団体がそれぞれの立場で「地域デビュー」への支援を進めていくこととした。

一次評価(課長評価)

今後の方向性	A:充実又は拡大 C:統合又は縮小 E:事業完了 B:現状のまま継続 D:廃止又は休止	A	改善の必要性
	総合計画の進行管理については、定例的な事務として庁内に浸透していると評価しているが、実施計画事業に係る予算・決算額の内訳(政策的経費・経常的経費)については、人事異動などで担当者が変わるにより、錯誤が生じている。また、事業工程を変更した経緯や経費の変動なども事業所管課と共有しておく必要があり、こうした部分の改善は必要と考える。		有
担当課長氏名:		嶋村 豊一	

二次評価(部長評価)

今後の方向性	A:充実又は拡大 C:統合又は縮小 E:事業完了 B:現状のまま継続 D:廃止又は休止	A	改善の必要性
	基本計画、実施計画とも進行管理が着実に実行されており、施策進行評価との連携など有効に活用されている。 基本計画・実施計画のWEB版については、施策の進捗状況を市民の皆さんに知っていただくための大切なツールであると考えている。実施計画については平成21年度から中期実施計画に更新されるため、ホームページの構成を再検討し、必要な情報に辿り着きやすいページ構成に組み直すこととする。		有
担当部名	経営企画部	部長名	小村 亮一